

知事コラム 村井が走る



歴史は繰り返される

皆さんは、現在と100年前の世界が非常に似ていることをご存じでしょうか？ 当時、第一次世界大戦(1914年~1918年)が勃発、アメリカ大統領選挙でウォレン・ハーディングが「アメリカ第一主義」を掲げて勝利し、前大統領の築いた国際協調主義を転換して国際連盟にも加入せず、ワシントン会議を開催し日英同盟を破棄させました。また、1918年~1920年には、世界中でスペイン風邪が大流行しパンデミックになっています。何となく、現在の米中貿易戦争、アメリカのトランプ大統領の自国第一主義、新型コロナウイルスによるパンデミックなどと符合します。では、100年前にこうした国難を克服できた理由はどこにあるのでしょうか？ それは、この日本に立派なリーダー、内閣総理大臣の「原敬」が存在したからだと思っています。南部藩(現在の岩手県中部~青森県東部)出身の原敬は、薩摩と長州の藩閥政治が堂々で行われていた時代に政党政治を目指して苦勞を重ね、総理大臣(1918年~1921年)になりました。総理就任後の政策は「外交における対英米協調主義」、「内政における積極政策(鉄道の整備など)」、「政党の影響力拡大・強化」といった当時としては非常に斬新なものでした。原敬の伝記を読むと「平民宰相」と国民に慕われた理由が良く分かります。現在もまさに国難と言える状況です。同じ東北出身の立派なリーダーから信念や哲学を学び、必ず宮城を再興させたいと思います。

宮城県知事 村井 嘉浩

文化芸術

文化芸術活動の場として ウェブサイトを開設しました

実施中

イベントの開催自粛などにより停滞した文化芸術活動を応援するため、アーティスト活動をPRする動画をまとめたウェブサイトを開設しました。ウェブサイトには、音楽や演劇、伝統芸能などさまざまなジャンルの動画作品を随時掲載します。ぜひこの機会に、みやぎの文化芸術に触れてみませんか。

消費生活・文化課 ☎022(211)2527 特設サイト
宮城県文化振興財団 ☎022(225)8641 トモシビ・プロジェクト 検索

農林水産

モール型ECサイトに 県産品特設ページを開設します

10月から

外出自粛やイベント中止などにより、県産品の販売に大きな影響が出ています。そこで、インターネットを通じて買い物ができるモール型ECサイトに、県産品を特集した特設ページを10月中旬に開設します。

特設ページでは「食材王国みやぎ」が誇る豊富な商品ラインナップに加え、ページ内で利用できる割引クーポンを発行します。

おうち時間を彩る「県産品との出会い」をインターネットでお得に楽しみましょう。

食産業振興課 ☎022(211)2815



農林水産

みやぎの水産物「一日一魚」 プロジェクトを始動します

9月から

おいしいみやぎの水産物の需要喚起と、県民の皆さんに水産物の魅力を知っていただくため、県内の量販店で県産水産物を購入いただいた方を対象としたプレゼントキャンペーンや飲食店フェアを9月以降に行います。

この機会に、おいしいみやぎの水産物を「一日一魚」食べて、みやぎの元気を取り戻そう！食べようお魚エイ・エイ・魚〜!

水産業振興課 ☎022(211)2954



教育

ICTを活用した学習支援体制を 整備しています

実施中

教育支援アプリケーションやウェブカメラを県立学校に導入し、各学校から課題や授業などの学習コンテンツを配信できるよう、ICTを活用した学習支援体制を整備しています。

各県立学校では、生徒が自宅にいても、インターネットを介して学校とつながり、オンラインで学習活動を行うなど、多様な学びが提供できるよう準備しています。

高校教育課 ☎022(211)3624



コロナに負けるな! みやぎを元気に!!

宮城県での新型コロナウイルス感染者および療養者数は、3月下旬以降急増し、5月末にはいったん収束しましたが、6月中旬以降、再び感染者の発生が続いており、引き続き予断を許さない状況が続いています。

このような状況から、当面の間は新型コロナウイルス感染症との共存を前提に、「新しい生活様式」などの感染拡大の防止対策を取り入れた社会・経済活動が求められます。

県は、今後の感染拡大を想定し、感染症対策を徹底しつつ、新しい生活様式を取り入れた日常生活・事業活動の推進や、落ち込んだ県経済の回復を図るため、観光、文化芸術、農林水産、教育など、さまざまな分野に対する支援に取り組んでいます。

県内の状況(8月4日時点)

感染者数累計	176人
年代別患者割合(上位3つ)	20代 …… 34% 30代 …… 17% 50代 …… 14%
最大新規感染者数/日	14人(7月16日)
最大療養者数/日	70人(4月18日)

気を緩めないで!! 社会・経済活動と感染症対策はセットで

- 「飲食店などの施設を利用する場合」は、感染症対策を実施している施設を利用し、対策にご協力ください。
- 「宴会や飲み会を行う場合」は、3密(密閉・密集・密接)の防止のほか、大皿料理の共有や飲み物の回し飲みを避けるなどの「新しい生活様式」を強く意識した行動をお願いします(大きな声で会話する酒席はオンラインで)。
- 「東京などの県外に移動する際」は、移動先の感染状況に注意し、どのような場所で患者が発生しているか、クラスターの発生の有無などについて情報収集し、慎重な行動をお願いします。
- 「事業者の方」は、「新しい生活様式」と業種ごとの感染拡大予防ガイドラインに基づく感染症対策を徹底してください。

引き続き「新しい生活様式」の実践・定着と社会・経済活動との両立にご協力をお願いします

観光

宿泊施設・観光施設の感染防止対策を 推進しています

実施中

宮城県ホテル旅館生活衛生同業組合、仙台ホテル総支配人協議会、みやぎおかみ会などの関係団体と共同で、旅行者の皆さんに安心して宮城の宿泊施設や観光施設をご利用いただけるよう、新型コロナウイルス感染症対策を応援する取り組みを実施しています。

一定の基準を満たした宿泊施設・観光施設では、ポスターやステッカーを掲出しており、あわせて宮城の観光情報サイト「宮城まるごと探訪」にも順次掲載しております。

このポスター、ステッカーを目印に、安心して宮城のお宿にお泊まりください。

観光課 ☎022(211)2895 宮城の観光情報サイト「宮城まるごと探訪」